

Interview 1



「寄付の想いを形に。私のやりがいはここにある」

Q. どんな仕事をしていますか？

私はシティプロモーション推進課で、ふるさと納税に関する業務を担当しています。ふるさと納税とは、応援したい自治体に寄付すると税金の控除が受けられ、返礼品も受け取れる制度です。富良野市の返礼品には、富良野産のメロンやふらのワイン、ふらのチーズなどがあり、非常に人気があります。

私の業務内容は、返礼品提供事業者・関係企業とのやり取りや寄付者の対応です。寄付者が選んだ返礼品を事業者や関係企業に手配し、発送までの手続きを行うほか、提供される返礼品の品質を確認することや、事業者と連携して内容の見直しや改善にも取り組んでいます。また、寄付者から寄せられる様々な問い合わせに丁寧にお答えします。具体的には、寄付の手続き方法や返礼品の選び方、税控除の仕組みの説明などです。返礼品に関するトラブルが発生した際には、事業者と連携して対応することもあります。

多方面にわたる問い合わせに対応するため、状況に応じて考え、行動する力が大きく向上しました。また、市の財政に関わる重要な業務であることから、大きな充実感があります。

Q. 富良野市役所の魅力を教えてください。

富良野市役所には、30歳以下の若い職員が50名以上在籍しています。業務面はもちろん、クラブ活動やプライベートも含めてフレッシュで風通しの良い関係性があります。また、職場建物の分散が少なく、他部署の職員とも気軽に交流できる雰囲気があります。こうしたみんなと仲良く働ける環境は、富良野市役所の大きな魅力の一つだと思います。

Q. 気分転換の方法を教えてください。

仕事終わりや休日に富良野市内の飲食店で美味しいものをたくさん食べてストレスを解消しています。富良野市には美味しい飲食店がたくさんあり、どこもおすすめです。個人経営のお店が多く、どのお店も温かな雰囲気とおもてなしが魅力です。また、富良野名物のふらのワインやオムカレーを提供しているお店も多く、その美味しさは印象的です。ぜひ富良野市の魅力的な飲食店で美味しい食事と温かいおもてなしを体験して、行きつけのお店をつくってみてください。

小國さんのとある一日

8:30

その日の予定を確認し、メールのチェックを行う

12:00

お昼休憩
市役所で昼食

15:00

事業者を訪問し、
返礼品の状況確認

その他

寄付者からの問い合わせ対応

10:00

事業者を訪問し、
新規取り組みを
打ち合わせ

13:00

関係企業と
WEB会議

17:15

終業
翌日のスケジュール
を確認して帰宅

Interview 2



ぶどう果樹研究所業務課
～令和4年度採用～
穂元さん

「地域の魅力を現場から届ける」

Q. どんな仕事をしていますか？

私が所属するぶどう果樹研究所は、富良野市が運営するワイナリーで、2022年に設立50周年を迎えました。美しい自然の中で育った富良野産ぶどうを原料にワインを製造しており、お土産やふるさと納税の返礼品として高い人気があります。

主な業務は、経理や発注受付業務、さらに物産展での販売やイベント運営など多岐にわたります。経理では、売上見込みの把握、お客様からの入金確認、原材料の購入費や設備維持費といった運営に必要な経費管理を担当しています。その他には、道外の物産展に出店して「ふらのワイン」の販売や営業活動を行うほか、イベントの一つである「ふらのワイナリー祭り」では、地下貯蔵庫の見学、ぶどう果汁を使用したかき氷、ワインの試飲など、来場者にワイナリーの魅力を体感していただける内容を提供しています。

これらの業務を通して、生産者やお客様、関係企業など多くの方々と関わりながら仕事が進んでいくことを実感しました。また、イベントや物産展を経験したことで、「ふらのワイン」が多くの人に支えられていることを肌で感じ、地域の魅力を発信する仕事へのやりがいも強く感じています。

Q. 富良野市に住んでみて感じたことを教えてください。

道外出身の私にとって、冬の厳しい冷え込みは印象的でした。年に何度か最低気温が -20°C を下回る日もあり、最初は驚きましたが、その寒さも含めて富良野らしさを感じるようになりました。凜とした空気や澄んだ景色など、冬だからこそ味わえる魅力も多いと感じています。

Q. 入庁してから嬉しかったエピソードを教えてください。

同年代の同僚や先輩が飲みに誘ってくれたことです。道外出身で知り合いが一人もおらず、入庁当初は心細さを感じていましたが、富良野市役所では同年代と関わる機会が多く、そうしたつながりからお誘いをいただいたことで不安が一気に和らぎました。その後は交流の輪が自然に広がり、新しい環境にも少しずつ馴染むことができました。本当に嬉しかった出来事として、今でもよく覚えています。

穂元さんのとある一日

8:30

その日の予定を確認し、朝礼を実施

10:00

売り上げの入金処理

13:00

イベントの打ち合わせ

17:15

翌日のスケジュールを確認し、帰宅

8:50

ワイナリーの開錠

12:00

お昼休憩

16:50

ワイナリーの閉錠



保健医療課
～令和5年度採用～
鈴木さん
(保健師)

「子どもから高齢者まで、健康を支える」

Q. 入庁の決め手を教えてください。

地元からの距離や人口規模、成人と母子両方の業務にバランスよく携われそうなことなど様々な面で富良野市への就職を考えていました。大学4年生の秋に実習で富良野市を訪れた際、実際に職場の雰囲気や業務の内容を見ることができ、入庁後の働くイメージが持てたことが富良野市役所入庁の決め手になりました。

Q. どんな仕事をしていますか？

保健師は、子どもから高齢者までの健康を支援するため、多岐にわたる業務を行っています。

母子保健の分野では、母子手帳の交付、乳幼児健診や乳幼児健康相談、新生児訪問などを通して母子の健康状態の確認や相談支援を行っています。

成人保健の分野では、メタボリックシンドロームの予防・改善を目的とした特定健診を実施し、がんの早期発見・早期治療のためのがん検診も行います。さらに、生活習慣病予防の保健指導や健康教育、住民からの健康相談に応じ、適切なアドバイスや情報提供を行います。私の主担当は成人保健ですが、全ての業務に携わっています。

Q. 富良野市に住んでみて感じたことを教えてください。

市街地がコンパクトで通勤や買い物がしやすいと感じました。主要なお店が近辺にまとまっているので、移動時間が短く用事が早く済みます。また、主要な道路の除雪がしっかりと行われているので運転もしやすいです。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。

初めて行う業務やわからないことは丁寧に教えていただいたり、支援の方針に迷った時は他の保健師にも相談して一緒に検討し、助言をいただいています。保健医療課は女性の比率が高く、優しい人が多いので相談しやすい雰囲気だと思います。

Q. 就活をしている方へメッセージをお願いします。

富良野市はとても住みやすくていいまちです。富良野市役所も優しく温かい方が多く、青年層も増えていますので安心して受験していただければと思います。お待ちしております。

鈴木さんのとある一日

8:30

その日の予定を確認し、メールのチェックを行う

11:00

新生児訪問の訪問記録の作成

13:00

病院から届く特定健診の結果の処理

17:15

終業
翌日のスケジュールを確認して帰宅

9:30

新生児訪問
赤ちゃんの発育発達の確認や育児相談を行う

12:00

お昼休憩
自宅に戻り昼食

16:00

特定健診の受診者に保健指導



「建物を通じて次世代に夢を届ける」

Q. 入庁の決め手を教えてください。

もともと建築業界には関心がありましたが、自分が通っていた小学校や体育館が建て替えられていく様子を見て、改めて興味を持つようになりました。次の世代を担う皆さんにも建築物を通じて関心を持ってもらい、将来の目標にしてほしい、そのように考えたことが入庁を志望した決め手となりました。

Q. どんな仕事をしていますか？

建築関係の専門的な技術や知識を要する業務を行っています。具体的には、公共建築物の現状を確認し、改修が必要な箇所や問題点、老朽化の状況を調査します。その後、改修のための図面を作成し、建築基準法などの法令に基づいて設計を行います。また、材料費や人件費などの工事にかかる費用を計算して予算を策定し、進捗状況の確認や施工業者との打ち合わせを行いながら工事を進めていきます。完成した建築物の安全性が確保されているかなどを検査します。そして、建造物の設計段階で建築基準法の規定に適合しているか、完成した建造物が設計通りに建てられているかを調査する建築確認・建築指導の業務も担っています。

Q. 仕事のやりがいと苦労したことを教えてください。

最初は右も左もわからず、施工会社の方との打ち合わせでも戸惑うことが多くありました。しかし、職場の先輩に相談したり、自分で調べたりしながら、一つひとつ着実に対応してきました。今でも日々学び続けています。こうして知識や経験を積み重ねていく中で、施工会社の方と打ち合わせを重ね、一つの現場を協力しながら形にしていく過程には、大きなやりがいを感じています。

Q. 気分転換の方法を教えてください。

体を動かすことが好きなので、スポーツをすることで気分転換しています。富良野市役所では、野球部やバレーボール部、卓球部やソフトテニス部などたくさんの運動部や同好会があり、メンバーとコミュニケーションがとりやすく、参加しやすい環境だと思います。

大坪さんのとある一日

8:30

その日の予定を確認し、メールのチェックを行う

12:00

お昼休憩
自宅に戻り昼食

15:00

設計図をもとに
図面の作成

その他

電話による
問い合わせ対応

10:00

受付済みの申請書
を確認、システム
入力

13:00

現場に行き、
進捗状況の確認と
打合せ

17:15

終業
翌日のスケジュール
を確認して帰宅

富良野市立 虹いろ保育所

虹いろ保育所
～平成29年度採用～
及川さん
(保育士)



「子どもの成長を支える、地域に愛される保育へ」

Q. 入庁の決め手を教えてください。

私が生まれ育った地元である富良野市に少しでも貢献できたらという思いがありました。また、学生時代に実施した保育所での実習が楽しかったこともあり、富良野市で保育士を募集していることを知った時に受けてみようと思いました。

Q. どんな仕事をしていますか？

業務内容は、子どもへの支援として日常生活を通じて健やかな心と身体の成長を援助します。具体的には、食事や着替え、遊びの時間など、日々の生活の中で子どもたちが自立し、成長するためのサポートを行います。そして、子どもたちの体調の変化にも常に気を配り、子どもたちが安心して過ごせる環境の提供に努めています。

おたよりや保育指導案の作成などの事務に加えて教材研究も行います。保育士は、子どもたちが豊かな体験を重ねていけるように、使う教材や活動を考えています。また、運動会や発表会などの行事の開催時には保育所全体で協力しながら計画・運営を進めています。

Q. 印象に残っているできごとを教えてください。

年長児の担任だった発表会が印象的でした。力を最大限に引き出せるよう、振付や衣装を工夫し、指導にも力を入れていました。練習の成果を十分に発揮し、すてきな発表を披露してくれた子どもたちに感謝を伝えたいのは私のほうなのですが、演目終了後に園児の一人が「先生、ありがとう」と声をかけてくれました。心の成長を感じるとともに、私自身も胸が熱くなった瞬間でした。

Q. 職場の雰囲気を教えてください。

子どもたちの賑やかな声が響き渡っていて活気があります。また、困っている職員がいたら声を掛けあって助け合う雰囲気ができているアットホームな職場です。休憩時間には日ごろの出来事で笑いあったり、子どもたちの可愛いエピソードなどが飛び交っていて、とても和やかな雰囲気です。

Q. 今後の目標を教えてください。

保護者の相談相手としての課題解決力や保育の質を向上し、地域に愛される保育士・保育所を目指しています。

及川さんのとある一日

7:30
子どもの視診・受け入れ、欠席連絡のチェック

11:10
食事の援助
お昼寝に向けて排泄や着替えの援助

15:10
おやつ
食事の援助

16:10
終業
※7:30～18:30
のシフト制

10:00
クラス別設定保育
子どもの興味や発達に合わせた静的・動的活動

12:30
寝かしつけ・午睡
チェック、連絡
ノートの記入など
事務仕事と交代制
でお昼休憩

15:45
お迎えに来た保護者にその日の様子や連絡事項を伝える